

第2回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2017年11月6日（月）10時00分～11時40分

場 所：川崎市役所第3庁舎18階 第1会議室

出席者：〔委員〕小倉、庄司、末吉、瀧田、中山

〔川崎市〕地球環境推進室 齋藤、宮川、内田、加賀谷

〔事務局〕株式会社ダイナックス都市環境研究所 北本、小池

1 開会

開会に先立ち、庄司委員長から「かわさきコンパクト（以下、「KC」とする。）の理念について活発なご討議をお願いしたい」というあいさつがあった。

2 議題

(1) 事業報告について

事務局（株式会社ダイナックス都市環境研究所）から資料1-1、1-2、1-3をもとに、今年度実施したKCの事業についての報告が行われた。委員からは以下の意見があった。

- （委員）交流会の意見交換会で同じグループだった方から、SDGsへの積極的な取組をされていること伺った。川崎市内において、すでにSDGsに取り組んでいる団体がいることを知ることができてよかった。
- （委員）エコクロスマッチングは市内の様々な団体が参加しており、草の根レベルの活動を知ることができた。交流会にも参加をし、昭和電工の優れた取組について勉強することができた。
- （委員長）今回の交流会は、目的の一つである「SDGs」というコンセプトがしっかりと伝わったのではないか。一般参加の方で、KCへの参加を検討してくれる方はいたか。
- （市）一般参加の方は、団体としてというよりは個人的に関心をもって申し込まれた方が多く、KCへの参加にはつながらなかったが、KCの理念・取組について市内の方々に知っていただく良い機会になったと思う。

(2) かわさきコンパクトにおけるSDGsの推進について

市から、資料2-1、2-2をもとに、KCにおけるSDGsの推進について報告された。委員からは以下の意見があった。

- （委員）市民コンパクトの宣言に「わたしにできる行動」とあるが、KCは団体で参加するものなので、この文言はなくてもよいのではないか。現在は「原則」、「宣言」という言葉を用いているが、「ビジネスコンパクトが目指すもの」など噛み砕いた表現に言い換えてもいいと思う。

- (委員) SDGs が世界で広がるなかで、KC が想定していなかった内容も盛り込む必要がある。文言の見直し程度だけでなく、改革とも言える大きな見直しが必要ではないか。KC の取組内容より前に、SDGs にどう取り組むかの基本的合意が必要である。目指すものは「Sustainable Society」が大原則であり、そのために各主体がどのような取組を行うかを考える必要がある。KC が SDGs を柱にするのであれば「川崎は持続可能な社会を目指す」ことが大目標になるのではないか。
- (委員長) 冊子のサブタイトルにも「川崎」という単語を入れて、川崎の責任や意思を込めてほしい。そのうえで内容をもう少し詰めてほしい。
- (委員) SDGs は社会的弱者や困っている人へ救いの手を差し伸べるという特徴が強い。川崎市が国際的な弱者に配慮した自治体であることを打ち出せば、世界の市民同士のパートナーシップや連携を川崎市民が目指すことが提唱できてよいのではないか。
- (委員) 現在 KC に賛同して参加している団体のことを考えると、これまでの理念を読み取れる原則や宣言でないと新たなものに賛同してもらえないのではないか。今回の案を足掛けに SDGs への対応を検討したほうがよい。
- (委員) 宣言をより広がりのある内容にしてもよいと思う。特定のテーマでは賛同が難しい団体もあるので、宣言の書き換えではなく「持続可能」などの対象の広い項目を追加し、様々な地域や年齢層が参入しやすくしてはどうか。既存の参加団体に対しては、項目を増すことで幅を広げたと説明すればよいのではないか。
- (委員) 考え方は 2 つあり、規程や規約を変更するような大規模な変更か、文言を変更するようなマイナーチェンジ程度の変更の 2 通りある。川崎市は SDGs に対して、現在どのようにお考えか。
- (市) できる限り現状の KC の柔軟さを維持してネットワークを広げていきたい。KC の取組からそれぞれの団体の取組や活動がグローバル・コンパクト、SDGs につながることを知り、活動を広げてほしいと考えている。まずはマイナーチェンジを行い、大幅な見直しは時間をかけて進めたい。
- (委員) 宣言には今回は手を加えず、まずは冊子など様々な媒体に SDGs の理念を盛り込んでいってはどうか。その先に KC をどのように変えていくかについて議論することになる。「全国に先駆けて」、「地方自治体としてはじめて」などの言葉や、KC の取組は SDGs を先取りしたものであったことを入れたい。ロゴも入れるなど、SDGs を強調してほしい。内閣府の SDGs 実施指針では、地方自治体の作成する文書について SDGs の要素を最大限反映することを奨励とある。KC 冊子にも最大限反映させたい。
- (委員長) SDGs が浸透しはじめ、メディアなどにも取り上げられはじめているタイミングで、SDGs を打ち出していくのはよい。冊子では SDGs を全面に押し出す。原則・宣言の文言を含め、今後の KC が SDGs にどのように対応するかはきちんと議論して、何をめざすかを検討する必要がある。
- (委員) 「川崎に住みたい」、「川崎で起業したい」等と思わせる要素の一つが KC

や SDGs になってくると思う。例えば各学校の環境教育の時間の一部で SDGs について取り上げたり、市内の大学生を集めて SDGs について学ぶ講義を開催するといったことも考えられる。どの組織、企業も SDGs をうまく活用しようとしているが、川崎市はグローバル・コンパクトへの参加により先鞭をつけているので、今後も先進的な取組を実施すべきである。手軽に動ける中小企業が取組の核となると思う。

- ▶ (委員) 中小企業は資源の面でなかなか動くことができないので、産業界でもバックアップなどの補助が必要である。中小企業で SDGs に積極的に取り組んでいる事例は少ないと思うので、そういう意味でも川崎がトップランナーとなれると思う。
- ▶ (委員長) 「誰一人取り残さない」という SDGs の理念は川崎にも当てはまる。まずは情報発信からになるが、一步一步川崎の SDGs を形にしていける。

(3) 今年度中の事業予定について

市から、資料 3 をもとに、今年度のかわさきコンパクトに関する事業予定について報告された。委員からは以下の意見があった。

- ▶ (委員) かわさき環境フォーラムやごえん楽市に展示するパネルは、本日の議論の内容を踏まえて変更するのか。
- ▶ (市) SDGs などを取り入れたほうがいいため、変更を検討したい。
- ▶ (委員長) SDGs に関する簡単な配布物や掲示などがあるとよい。
- ▶ (委員) 既存のパネルは業者に発注したものだが、手作り感があるもののほうが人は見てくれる。手軽に作り変えられるようなものが望ましい。
- ▶ (委員) 交流会の際に使用した SDGs のロゴは見やすくかわいらしい絵で参加者の方々も気に入っていたので、わかりやすい掲示を入口に貼り露出してはどうか。
- ▶ (委員) 例えば会場のペットボトルを捨てる回収箱に、該当する SDGs のロゴを貼っても面白いと思う。貼っておけばみんな見てくれるし、自分ごととして捉えてくれるのではないかな。
- ▶ (委員) 広報にもっと力をいれてほしい。交流会やセミナーなどの案内の際、メディアへのアピールなどを検討すべき。地域社会貢献フォーラムは KC を宣伝するいい場になると思う。冊子や名刺を配って KC 参加団体を増やしてほしい。

3 事務連絡

次回委員会日程については、2月から3月をめどに交流会と同時に開催を予定し、具体的な日程は別途メールで調整することとなった。

4 閉会